



ハナノキ [花の木]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、雌雄異株

葉の展開前、枝の先々に赤い花を咲かせる。樹全体が赤く染まるほどに咲く。この姿が見事なことからハナノキと呼ばれる。紅葉も素晴らしいため、年に2度楽しめる。日本固有種で木曾川流域の湿地に自生。個体数が少なく、自生地は国による天然記念物に指定されている。



新緑時



雌花



雄花



紅葉

Memo

近縁種のアメリカハナノキが流通するため、日本固有種との交雑が危惧されている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期				■									
果 実											■		
紅葉・黄葉											■		
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■ (春先の活動が早いため2月上旬までがよい)											

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○			○

ポイント

雌雄異株で開花時は、雌株より雄しべが目立つ雄株の方がより赤く染まる。日当たりがよいと紅葉も美しい。自生地は湿地だが一般土壌で生育する。大きく育つので、植え付け場所に依じて剪定する。

剪 定

落葉期に枝抜き剪定にて美しい自然樹形を維持する。樹高を止めるときは、将来を見越して枝や幹の細いうちに芯を止める。大きく生長してからの強剪定は樹形を損なう。

病虫害

樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害を受けやすい。幹下に木屑を見つけ次第駆除する。新緑時はアブラムシの被害に注意する。